

# 稲城市財政白書

(平成24年度決算)



平成26年8月  
稲城市

# はじめに

平成25年度末における日本経済は、国の経済対策により個人消費や企業収益に改善の動きが見られるなど、景気が緩やかに回復しており、先行きは各種政策の効果が下支えする中で家計所得や投資が増加し、景気の回復基調が続くことが期待されております。ただし、海外景気の下振れなど、景気が下押しされるリスクが存在するとともに、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動にも留意する必要があります。

一方、財政状況については、好転の兆しが見えてきません。特に、国と地方自治体の長期債務残高（公債残高、借入金残高等の合計）は、平成25年度末で約980兆円（うち地方が約200兆円）と見込まれています。こうした厳しい財政状況のもと、国では中期財政計画の中で、持続的成長と財政健全化の双方の実現に取り組み、国と地方を合わせた基礎的財政収支について、平成27年度までに平成22年度に比べ赤字の対GDP比を半減する目標が示されました。

このような中、地方財政計画では地方全体の財政需要を対前年度比1.8%増と見込みながらも、地方交付税を対前年度比1.0%減としており、地方財政にとって厳しい状況が依然続いていくものと想定されます。

このような状況の中で、市の財政運営をしていくに当たっては、単年度限りでなく長期的な視野に立って将来の財政状況を考えながら行う必要があります。そして、市の財政状況や抱える課題を、市民の皆さんにご理解いただき、また共有していただくため、「稲城市財政白書」の作成に取り組んでいます。

本書は、稲城市の財政状況が現在どのようになっているのか、平成15年度から24年度まで10年間の推移を、26市・類似市の数値とも比較しながらお知らせしています。

また、現在の公会計制度に基づいた決算数値だけでなく、企業会計的視点から当市の財政状況を見るために、貸借対照表（バランスシート）、行政コスト計算書、純資産変動計算書、資金収支計算書も作成していますので、併せてお知らせします。

- ・この財政白書の中で「**26市**」とは、東京都内の26市をいいます。
- ・この財政白書の中で「**類似市**」とは、**国立・福生・狛江・東大和・清瀬・武蔵村山・羽村・あきる野**の8市をいいます。これらの市は、人口及び財政規模が稲城市と似ており、総務省が「類似団体別市町村財政指数表」に定める市町村類型が[Ⅱ-1]であることから、比較検討に適していると考えられます。
- ・金額は、原則として表示単位未満を四捨五入していますが、端数処理の関係で合計額と合わない場合もあります。
- ・26市等と比較するため、原則として「**普通会計**」の決算数値を使用しています。

※普通会計とは

総務省が実施する地方財政状況調査（決算統計）で定める基準により作成する統計上の会計で、一般会計と特別会計（公営企業会計を除く）を合算し、重複額を控除したもので、稲城市では、一般会計と特別会計のうち土地区画整理事業特別会計と後期高齢者医療特別会計の一部が該当します。

# 稲城市財政白書(平成24年度決算) 目次

はじめに	1
稲城市財政白書(平成24年度決算) 目次	2
白書の見方	4

## I. 財政状況

### 1. 決算収支の状況 5

(1) 決算収支	6
(2) 歳入決算規模	7
(3) 歳出決算規模	8

### 2. 歳入の状況 9

(1) 市税	
① 個人市民税	10
② 法人市民税	11
③ 固定資産税	12
④ その他の市税	13
(2) 普通交付税	14
〔参考〕 普通交付税と臨時財政対策債	15
(3) 分担金・負担金・使用料・手数料	16
(4) 国庫支出金	17
(5) 都支出金	18
(6) 諸収入	19
(7) 市債	20

### 3. 歳出の状況 21

(1) 性質別	
① 人件費	22
〔参考〕 一般職員数と受持人口	23
② 扶助費	24
③ 公債費	25
④ 物件費	26
⑤ 維持補修費	27
⑥ 補助費等	28
⑦ 繰出金	29
⑧ 投資的経費	30
(2) 目的別	
① 平成24年度歳出(総額)	32

② 平成24年度歳出（一般財源）	33
③ 稲城市経年比較	34

#### 4. 財政指標の状況 35

(1) 経常収支比率	36
(2) 財政力指数	38
(3) 健全化判断比率	
① 実質赤字比率	39
② 連結実質赤字比率	39
③ 実質公債費比率	40
④ 将来負担比率	41

## Ⅱ. 現在の状況と課題

### 1. 債務と基金の状況 43

(1) 市債現在高	44
(2) 基金現在高	45
(3) 債務負担行為の翌年度以降支出予定額	46
(4) 多摩ニュータウン学校買取費(一般財源)	47

### 2. 今後の課題 49

(1) 人口の増加と平均年齢	50
(2) 年少人口と児童福祉費	51
(3) 老年人口と老人福祉費	52

## Ⅲ. 財務書類4表

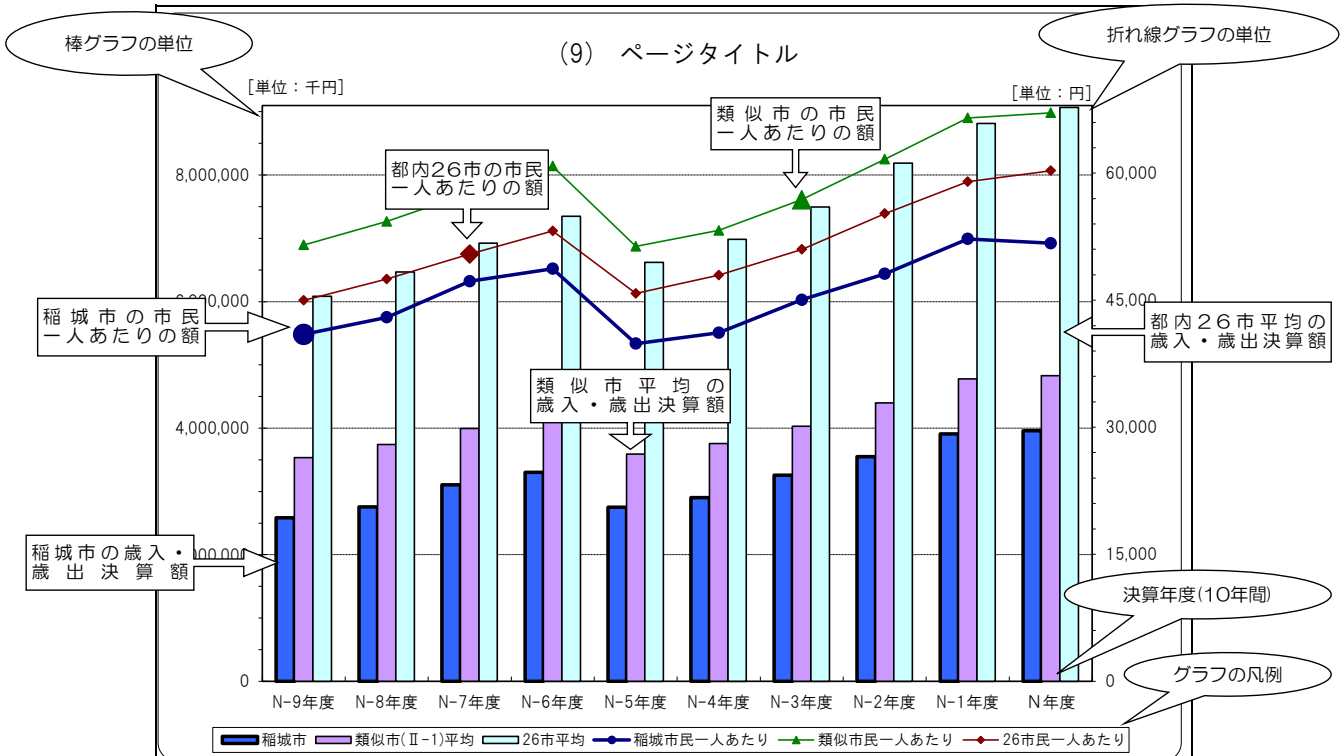
1. 財務書類と財務指標分析	53
(1) 財務書類の概要	54
(2) 稲城市の財務書類	57
(3) 財務指標（基準モデルでの他市比較）	70
2. まとめ	75
3. 付録	76
(1) 都内の類似市との財務書類の比較	76
(2) 基準モデルの科目の説明	80

むすび	84
-----	----

# 白書の見方

『稲城市財政白書』は、読んでいただく方に少しでも解りやすくなるよう、下記の紙面構成を基本として作成しております。

棒グラフは、稲城市、類似市、26市平均の絶対額を示していますが、人口規模・財政規模の違いがあつて分かりにくいので、市民一人あたりの数値を折れ線グラフに併記しています。

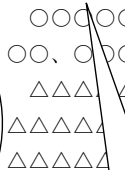


グラフの数値 (単位：千円、円)

	N-9年度	N-8年度	N-7年度	N-6年度	N-5年度	N-4年度	N-3年度	N-2年度	N-1年度	N年度
稲城市	2,586,110	2,756,545	3,103,648	3,303,683	2,751,779	2,904,649	3,254,712	3,547,915	3,911,304	3,961,843
稲城市民一人あたり	40,960	42,966	47,223	48,721	39,870	41,148	45,028	48,096	52,229	51,717
類似市(Ⅱ-1)平均	3,532,344	3,743,027	3,993,776	4,226,921	3,589,473	3,754,856	4,031,841	4,401,487	4,776,840	4,831,540
類似市民一人あたり	51,515	54,287	57,656	60,822	51,355	53,232	56,863	61,652	66,509	67,122
26市平均	6,469,375	6,921,276	7,347,769	6,618,713	6,986,422	7,495,448	8,187,604	8,813,801	9,068,627	
26市民一人あたり	47,941	50,993	55,229	58,995	60,288					

## 傾向分析

当該年度の決算額を、当該年度末3月31日の住民基本台帳人口で割った額



稲城市財政課で作成した、このページ内容の説明と分析。

最上位と最下位、稲城市と類似市を掲載

市町村類型が稲城市と同じⅡ-1となっている国立市・福生市・狛江市・東大和市・清瀬市・武蔵村山市・羽村市・あきる野市の合計を8市で割っています。  
(23年度より、市町村類型がⅡ-3からⅡ-1に変更されました。これに伴い、羽村市が新たに同じ類型に加わったため、類似市平均は上記8市の平均値となります。なお、22年度以前については、従来までのⅡ-3の区分とし、上記より羽村市を除いた7市の平均値となります。

## 平成N年度決算26市比較データ 市民一人あたり額(抜粋)

No.1. 最も高い市	91,259円
No.2. 稲城市及び類似市	85,264円
No.5. 稲城市及び類似市	75,317円
No.6. 稲城市及び類似市	74,448円
No.11. 稲城市及び類似市	61,364円
No.18. 稲城市及び類似市	51,717円
No.24. 稲城市及び類似市	42,932円
No.26. 最も低い市	40,526円

都内各市の決算額を、市民一人あたりの額で比較しています。

参考：充当された一般財源の比率

稲城市	類似市	26市
32.9%	32.8%	31.7%